

特集

「処方薬依存」と「脱法ドラッグ」 が大変なことになっておる

薬物依存症患者の乱用薬物は、過去は覚せい剤などの違法ドラッグだったが、近年は処方薬、そして脱法ドラッグが大変な勢いで増えている。

この特集では、まずは精神科医療者であれば知っておきたい処方薬依存、脱法ドラッグをめぐる現状を、松本俊彦氏、青山（上原）久美氏にまとめていただいた。

薬物依存症患者と聞くと、「できれば避けたい」という思いを持つ医療者が多いが、彼らをどのように捉え、接すればよいのかを、日々臨床で接している小林桜児氏に教えていただいた。

最後に、精神科医療者であれば気になる「通報義務」について、松本俊彦氏に記していただいた。通報義務はあるのか、ないのか、これを読めば初めてはっきりする。